

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス事業そら篠路館				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7	年	3	月	10	日
法人（事業所）理念		障がいのある方が地域の中で活動し生活することを目的として、利用者一人ひとりの自主性、主体性を尊重し、豊かな生活の広がりをめざしながら支援いたします。													
支援方針		「自己選択、自己決定」が表出できるよう、子供たちで考える場を設け、周囲との関わりを深める、表現力を高められるよう支援を提供します。豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにできるように支援を行います。また、公共の場を利用することでマナーや社会性を学ぶことへも力を入れていきます。													
営業時間		9	時	0	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	食事のマナーや食べ物を大事にする気持ち、お友達と一緒に料理する・食べる楽しみを味わうことや食べ物の生産過程を知るなどの食育を行います。生活する上で必要な排泄すること、着替えること、入浴すること、季節に応じた着衣等本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援での本人ができる形での定着を図ります。													
	運動・感覚	ホールでは、トランポリン・ボール運動・ダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。中庭を使用して、夏はプールやシャボン玉、冬は雪遊びを提供します。散歩では、近隣の公園へ行き季節を肌で感じることや公園の遊具を利用します。創作では、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにできるように支援を行います。													
	認知・行動	色や形・数字・物など様々な概念の理解を目指して、課題の提供を行います。認知、解釈しやすいように環境の整備を行い、ストレスなく過ごすことが出来るよう支援します。集団活動や創作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。													
	言語コミュニケーション	「自己選択、自己決定」が表出できるよう、子供たちで考える場「こども会議」を設け、周囲との関わりを深める、表現力を高められるよう支援を提供します。自分の気持ちを、相手に言葉やジェスチャー等を使用して相手に伝えられるよう支援を提供します。													
	人間関係社会性	SSTカードを使用して、場面・状況にふさわしい言葉や行動、相手の気持ち等を学べるよう目指します。遊びを通して小集団から集団へと移行ができるよう、手順やルールを理解し他者との関わりが形成できるよう支援します。													
家族支援		連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、電話連絡等で、不安や困りごとへの相談援助を行います。また、保護者参加型の行事にて交流の機会を設けます。						移行支援		学校や他事業所・関連機関との情報交換及び情報提供を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。					
地域支援・地域連携		夏祭りでは地域との関わりを大事にしています。篠路コミュニティーセンターの利用を定期的に行い地域との繋がりを大事にします。						職員の質の向上		●毎月の事業所会議実施●虐待防止・身体拘束適正化研修の実施 ●内部研修の参加●毎朝ミーティングを行い、情報共有を行う					
主な行事等		●施設行事として夏に夏祭り、冬にクリスマス会の実施 ●誕生日会 ●祝日、長期休暇中の所外活動 ●季節ごとのイベント													